

質問番号	質問内容	全体(1079人)		校長(477人)		教職員(除校長・教頭)572人	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
Q0-1	勤務先の校種等を選択してください。						
	1 幼稚園	77	7.1%	53	11.1%	23	4.0%
	2 高等学校	81	7.5%	18	3.8%	61	10.7%
	3 中学校	296	27.4%	125	26.2%	165	28.8%
	4 小学校	571	52.9%	273	57.2%	277	48.4%
	5 特別支援学校	54	5.0%	8	1.7%	46	8.0%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q0-2	年齢を選択してください。						
	1 10～20代	100	9.3%			100	17.5%
	2 30代	132	12.2%			132	23.1%
	3 40代	166	15.4%	19	4.0%	136	23.8%
	4 50代～	680	63.0%	458	96.0%	203	35.5%
	空白	1	0.1%			1	0.2%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q0-3	職を選択してください。						
	2 校長	477	44.2%	477	100.0%		
	3 教頭	30	2.8%				
	4 教諭	498	46.2%			498	87.1%
	5 栄養教諭	5	0.5%			5	0.9%
	6 養護教諭	26	2.4%			26	4.5%
	7 寄宿舎指導員	2	0.2%			2	0.3%
	8 実習助手	7	0.6%			7	1.2%
	9 事務職員	32	3.0%			32	5.6%
	10 栄養職員	1	0.1%			1	0.2%
	空白	1	0.1%			1	0.2%
	合計	1079	100.0%			572	100.0%
Q1-1	「学校目標の共有」						
	1 よくつながっている	92	8.5%	58	12.2%	26	4.5%
	2 つながっている	537	49.8%	286	60.0%	238	41.6%
	3 あまりつながっていない	338	31.3%	113	23.7%	216	37.8%
	4 全くつながっていない	99	9.2%	14	2.9%	85	14.9%
	空白	13	1.2%	6	1.3%	7	1.2%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q1-2	「教職員の意欲・資質能力の向上」						
	1 よくつながっている	38	3.5%	23	4.8%	12	2.1%
	2 つながっている	430	39.9%	242	50.7%	169	29.5%
	3 あまりつながっていない	434	40.2%	174	36.5%	252	44.1%
	4 全くつながっていない	166	15.4%	33	6.9%	133	23.3%
	空白	11	1.0%	5	1.0%	6	1.0%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q1-3	「教育活動等の充実」及び「学校の活性化」						
	1 よくつながっている	39	3.6%	19	4.0%	14	2.4%
	2 つながっている	418	38.7%	248	52.0%	155	27.1%
	3 あまりつながっていない	462	42.8%	183	38.4%	270	47.2%
	4 全くつながっていない	149	13.8%	22	4.6%	127	22.2%
	空白	11	1.0%	5	1.0%	6	1.0%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q2-1	高等学校等では、複数の評価者により評価を実施（一次評価＝教頭、二次評価＝校長など）していますが、複数で評価することが適切だと思いますか。 ※高等学校及び特別支援学校に勤務する教育職の方のみ回答してください。	130		26		102	
	1 適切である	112	86.2%	25	96.2%	85	83.3%
	2 適切ではない	13	10.0%	1	3.8%	12	11.8%
	空白	5	3.8%			5	4.9%
	合計	130	100.0%	26	100.0%	102	100.0%
Q2-2	小・中学校では、校長だけが評価を実施していますが、評価の公平性・客観性をより向上するためには、教頭を評価者に加えることがよいと思いますか。 ※小学校・中学校に勤務する教育職の方のみ回答してください。	837		398		412	
	1 そう思う	537	64.2%	281	70.6%	244	59.2%
	2 そう思わない	279	33.3%	111	27.9%	154	37.4%
	空白	21	2.5%	6	1.5%	14	3.4%
	合計	837	100.0%	398	100.0%	412	100.0%
Q2-3	評価の公平性・客観性・透明性をより向上するためには、どのような改善を行うべきだと思いますか。 当てはまるものをすべて選択してください。						
	1 評価基準をよりわかりやすくする	929	86.1%	435	91.2%	465	81.3%
	2 評価者研修をより充実する	314	29.1%	120	25.2%	179	31.3%
	3 首席・指導教諭の意見を考慮する	153	14.2%	60	12.6%	91	15.9%
	4 同僚同士の意見を考慮する	384	35.6%	153	32.1%	227	39.7%
	5 児童・生徒からの意見を考慮する	231	21.4%	135	28.3%	93	16.3%
	6 保護者からの意見を考慮する	246	22.8%	159	33.3%	84	14.7%
	7 その他	149	13.8%	50	10.5%	97	17.0%
	空白	24	2.2%	5	1.0%	19	3.3%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q3-1	自己申告票が、仕事の成果の把握や、目標の達成に向けて取り組むことに役立っていると思いますか。						
	1 とても役立っている	29	2.7%	15	3.1%	11	1.9%
	2 役立っている	478	44.3%	271	56.8%	189	33.0%
	3 あまり役立っていない	440	40.8%	168	35.2%	263	46.0%
	4 全く役立っていない	131	12.1%	22	4.6%	109	19.1%
	空白	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%

質問 番号	内容	全体(1079人)		校長(477人)		教職員(除校長・ 教頭)572人	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
Q3-2	自己申告票の記載内容をどのように改善すれば、目標の共有化や目標達成状況の確認・把握に一層役立つと思いますか。当てはまるものをすべて選択してください。						
	1 目標達成のスケジュールの明確化	225	20.9%	143	30.0%	72	12.6%
	2 目標達成に向けた具体的な取り組みを記載	606	56.2%	344	72.1%	240	42.0%
	3 職務の達成目標の数値化	265	24.6%	184	38.6%	67	11.7%
	4 目標の重要度、優先順位を記載	374	34.7%	215	45.1%	147	25.7%
	5 その他	159	14.7%	39	8.2%	119	20.8%
	空白	81	7.5%	5	1.0%	76	13.3%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q4-1	目標設定面談や評価結果の開示面談の際に、教育活動の充実に向けての指導・助言などを行っていますが、面談が教職員の意欲・資質の向上等につながっていると思いますか。						
	1 よくつながっている	63	5.8%	31	6.5%	27	4.7%
	2 つながっている	550	51.0%	319	66.9%	213	37.2%
	3 あまりつながっていない	351	32.5%	119	24.9%	225	39.3%
	4 全くつながっていない	110	10.2%	7	1.5%	103	18.0%
	空白	5	0.5%	1	0.2%	4	0.7%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q4-2	面談をどのように改善すれば、より一層、教職員の意欲・資質の向上等につながるとと思いますか。当てはまるものをすべて選択してください。						
	1 より一層丁寧な評価理由の説明	369	34.2%	111	23.3%	247	43.2%
	2 今後伸ばすべき点や職務上のアドバイスの充実	730	67.7%	331	69.4%	379	66.3%
	3 個人目標と組織目標の関連に係る指導・助言の徹底	438	40.6%	222	46.5%	197	34.4%
	4 目標達成に向けての進捗状況確認面談の導入	158	14.6%	89	18.7%	61	10.7%
	5 その他	147	13.6%	37	7.8%	109	19.1%
	空白	54	5.0%	22	4.6%	32	5.6%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q5-1	評価結果の給与反映により、意欲や資質能力の向上につながっていると思いますか。						
	1 よくつながっている	18	1.7%	6	1.3%	11	1.9%
	2 つながっている	156	14.5%	75	15.7%	72	12.6%
	3 あまりつながっていない	569	52.7%	295	61.8%	260	45.5%
	4 全くつながっていない	320	29.7%	95	19.9%	219	38.3%
	空白	16	1.5%	6	1.3%	10	1.7%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q5-2	Q5-1について、なぜそう思いますか。	自由記述					
Q5-3	給与反映以降、評価に変化がありましたか。当てはまるものをすべて選択してください。 ※評価者のみ回答してください。(一次評価者除く。)						
	1 評価が厳しくなった			80	16.8%		
	2 評価が甘くなった			35	7.3%		
	3 下位評価を付け難くなった			181	37.9%		
	4 上位評価区分(S・A)50%以内を意識するようになった			121	25.4%		
	5 特に変化はない			158	33.1%		
	6 その他			26	5.5%		
	空白			24	5.0%		
	合計			477	100.0%		
Q5-4	評価結果が給与に反映されたことに伴う影響として、当てはまるものをすべて選択してください。						
	1 がんばりが報われることで、やる気が出た	131	12.1%	65	13.6%	61	10.7%
	2 個々の意欲が向上し、組織が活性化した	54	5.0%	29	6.1%	21	3.7%
	3 下位評価者の給与が抑制されることで、納得性が高まった	96	8.9%	60	12.6%	31	5.4%
	4 「短期的に成果が出やすい」「容易に達成できる」といった目標設定が増えた	234	21.7%	147	30.8%	75	13.1%
	5 設定目標以外の職務や、目立たない職務にかかわらない教職員が増えた	218	20.2%	85	17.8%	128	22.4%
	6 給与反映に伴う影響は特に感じていない	423	39.2%	186	39.0%	228	39.9%
	7 その他	252	23.4%	84	17.6%	165	28.8%
	空白	49	4.5%	12	2.5%	37	6.5%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q5-5	がんばった人とそうでない人に給与差を設けるのは適当だと思いますか。						
	1 そう思う	782	72.5%	387	81.1%	366	64.0%
	2 そう思わない	251	23.3%	76	15.9%	174	30.4%
	空白	46	4.3%	14	2.9%	32	5.6%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q5-6	教職員の意欲を向上し、組織の活性化を図るために、評価結果の給与反映をどのように改善すればよいと思いますか。当てはまるものをすべて選択してください。						
	1 給与反映のメリハリを大きくする	184	17.1%	109	22.9%	68	11.9%
	2 給与反映のメリハリを小さくする	59	5.5%	28	5.9%	28	4.9%
	3 評価結果が下位(C・D)の場合のみ給与を抑制する	493	45.7%	259	54.3%	221	38.6%
	4 昇給(給料)への反映をなくす(勤勉手当のみ反映する)	271	25.1%	132	27.7%	135	23.6%
	5 現状のままでよい	103	9.5%	33	6.9%	66	11.5%
	6 その他	221	20.5%	70	14.7%	145	25.3%
	空白	37	3.4%	8	1.7%	28	4.9%
	合計	1079	100.0%	477	100.0%	572	100.0%
Q6-1	自由記述欄						
	注：このアンケート結果は新勤評反対訴訟団が大阪市教委に開示させたアンケート結果(電子データ)から独自に集計したものである。						